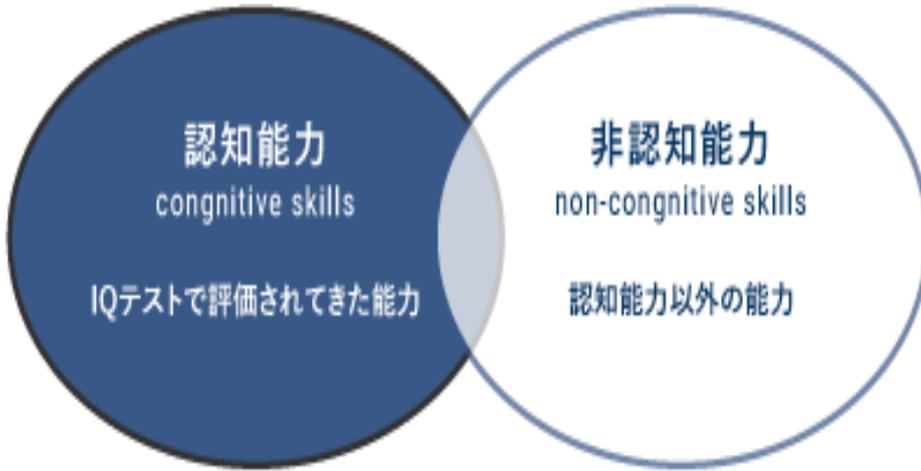


～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★復習その1★『非認知能力』とは何でしょうか？



解答例: 左の図のように『認知能力に非ず(あらず)』という解釈でOKです! よって『認知能力以外のたくさんの能力』を指しています!

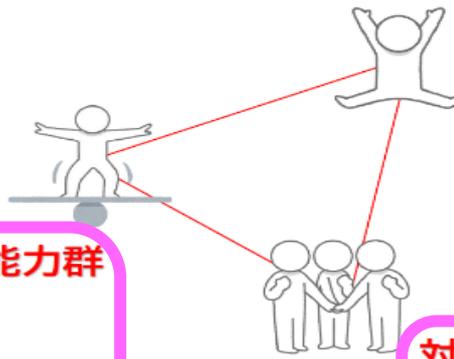
昨年のSAH講演会で岡山大学の中山芳一准教授は下の図のように『①自分を高める力』『②自分と向き合う力』『③他者をつながる力』を『教育現場で活用できる3つの非認知能力グループ』と定義していました。まずはこの3つの能力を『意識』してみてもいかがでしょうか?

教育現場で活用できる3つの非認知能力グループ

対自的変革・向上系能力群

自分を高める力

- 意欲・向上心
- 自信・自尊感情
- 楽観性 …など



対自的維持・調整系能力群

自分と向き合う力

- 自制心
- 忍耐力
- レジリエンス (回復力) …など

対他的協調・協働系能力群

他者をつながる力

- コミュニケーション力
- 共感性
- 社交性・協調性 …など

★復習その2★なぜ『非認知能力』を育成するの？

急激な社会の変化・低迷する経済・急激な人口減少・多様な価値観

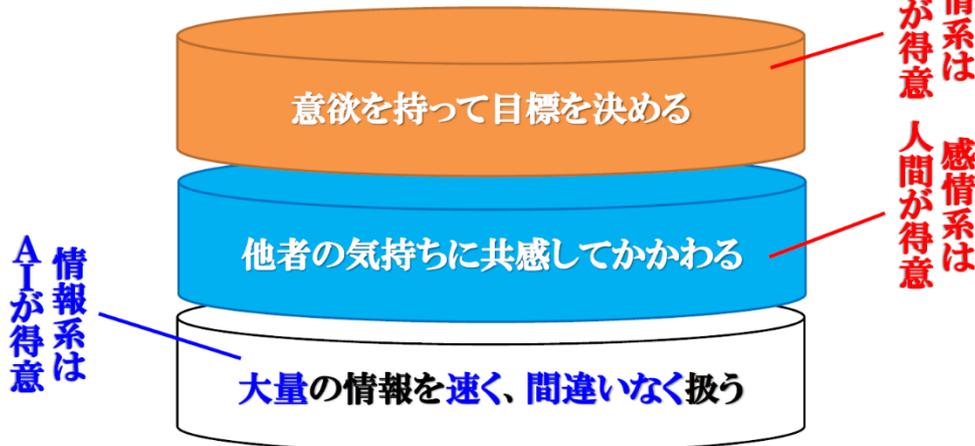
従来のビジネスモデルの変化・終身雇用制の崩壊・答えのない多くの社会課題…



理由①: 『学力』『IQ』『ペーパーテスト高得点』『IQ』
のみでは、『課題解決』は不十分かも??????

理由②: 『認知能力』では、『AI』にかなわない!!!

AI(人工知能)とパートナーになっていく時代!



中山芳一准教授は左の図のように『情報系』では『AI』にかなわないため、『AI』にはできない『感情系の能力(非認知能力)』を人間は伸ばすべきだとおっしゃっていましたね!また、『AI』に『支配される』のではなく、『パートナーになっていく時代』とも。

よって、『主体的』に『自分の頭』で『考え』、『他者と協働し』、『困難に負けず』行動できる人の育成が必要なのです!

★復習その3★ 『Student Agency』とは何???

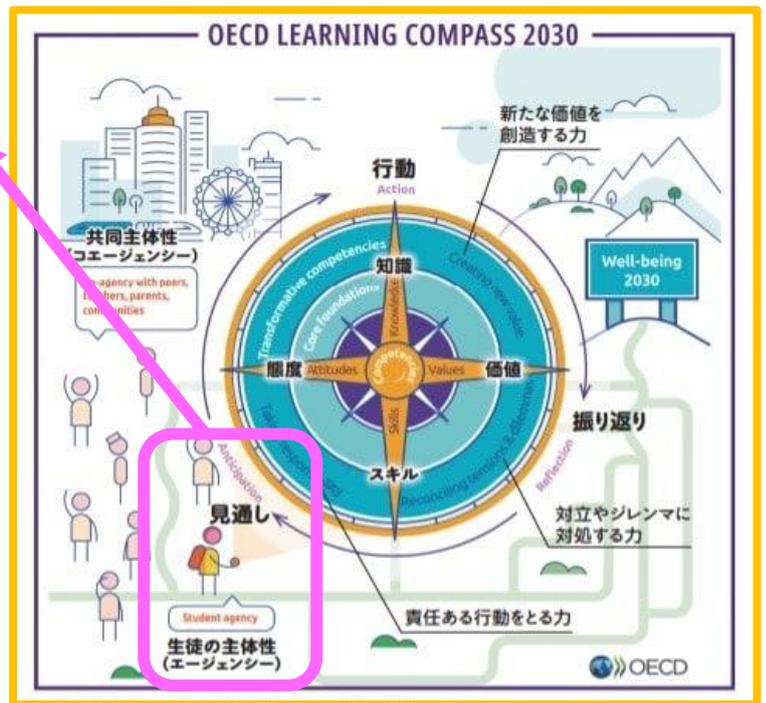
『SAH事業』は『OECD』の『LEARNING COMPASS 2030』から生まれました!

★『Student Agency』★

解答例:これは『変革を起こすため』に目標を設定し、『ふり返りながら責任ある行動をとる能力』と定義され、『主体性』と置き換えることも可能です。

それは『自分で考え、判断し、責任を持って行動できる能力や態度』を指しますが、『周囲との関係を重視』しており、『社会を理解し、自分がやるべきことに気づき、世界に影響を与えること』までも含んでいます!ちょっと言葉が複雑ですね。

例えば、『よりよい社会』を作るため、『だれもが笑顔で過ごせる環境』を作るため、『ひとりひとりが充実感を得られる環境』を作るため、『今いる場所を少しでも良い場所に』するため、



『変革を起こす』ための『責任ある行動をとる能力』

を『Agency』と呼ぶのです!昨年度もたくさんの前南生の『Agency』が発揮されましたね!私も前南のために『Teacher Agency』を発揮します!みなさんも意識し、行動してみませんか?と、言いながらまた『情報の詰め込み』をしてしまい、『読みづらさ』を出してしまいました。ごめんなさい!(教頭 星野 亨)

★校長より★

今回、取り上げられた非認知能力の一つに「他者につながる力」が挙げられています。1年生の皆さんは現在、この力がフルに発揮されているのではないのでしょうか。15年間全く違う場所で育ってきた皆さんが今、前橋南高校に集っています。当然、考え方や習慣が違う人もいるでしょう。しかし、皆さんと一緒に生活していくためにはコミュニケーションをとり、お互いを認め、理解していこうとしなければなりません。是非、たくさんの人とコミュニケーションをとってみてください。校長 原 拓史